広報 まちだ
第1320号
2002年（平成14年） 3／11
発行・町田市　編集・企画部広報広聴課
〒194-8520　東京都町田市中町1－20－23
市役所の代表電話042・722・3111
発行日・毎月3回1の日（1日、11日、21日）
ホームページ http://www.city.machida.tokyo.jp

市の将来都市像
多摩丘陵にはばたく市民文化都市

3月議会が開会

新年度予算など52議案を審議

選挙の関係で骨格予算を上程

会期は今月29日まで

平成14年第1回市議会定例会が今日11日に開会されます。今議会には、平成14年度一般会計予算を始め52議案が上程されます。議案の内訳は、予算19件（平成13年度補正予算9件、14年度当初予算10件）、条例21件、市道の認定・廃止・変更3件、その他9件となっています。会期は今月29日までです。

平成14年度の当初予算は一般会計が1082億9400万円、特別会計が960億3900万円で、総予算額は2043億3300万円です。

平成14年度の当初予算は、2月に市長選挙が行われた関係で骨格予算となりました。前年度の当初予算と比較して、一般会計が13億9800万円の減、特別会計を含めた総計では17億4400万円の減額で、それぞれ1・3%、0・8%減となっています。一般会計の歳入は、市税が634億3710万円（58・6%）、国庫支出金96億1095万3千円（8・9%）、都支出金93億55万円（8・6%）など。一方歳出では、民生費がトップで331億3594万2千円（30・6%）、以下、教育費202億8844万円（18・7%）、土木費157億5686万1千円（14・5%）、総務費131億7573万7千円（12・2%）、衛生費112億8577万4千円（10・4%）の順となっています。

平成14年度の当初予算に計上されている科目別の主な事業は次のとおりです（1万円未満は切り捨て）。

【総務費】

本庁舎耐震補強工事費などの庁舎維持管理費（8億1498万円）、町田市民ホール耐震補強及び改修工事費などの市民ホール費（7億4730万円）、戸籍総合システムデータ移行委託料などの情報化対策費（21億2910万円、ISO9001認証取得事業費などの戸籍住民基本台帳費（3214万円）など

【民生費】

成瀬駅・玉川学園前駅のエレベーター等整備事業補助金などの福祉総務事務費（2億5707万円）、社会福祉法人すみれ福祉会（仮称）花の郷施設整備費等補助金及び小規模作業所等運営費補助金などの心身障害者援護費（20億4620万円）、高齢者福祉施設整備工事費及び（仮称）能ケ谷東部高齢者福祉施設整備費補助金などの高齢者福祉施設整備事業費（7億4306万円）、乳幼児医療費助成費（都制度・市制度）などの乳幼児医療費助成費（5億7481万円）、病後児保育事業委託料（ききょう保育園・小野路保育園分園・はやしクリニック）などの病後児保育事業費（3144万円）、認証保育所運営費（3552万円）、子どもショートステイ・トワイライトステイ事業委託料の子ども在宅サービス支援事業費（853万円）、わかば保育園運営委託料などの市立保育園運営委託事業費（1億1670万円）、（仮称）上三輪保育園施設整備費補助金などの保育所整備補助事業費（2626万円）、（仮称）森野三丁目保育所整備事業費（753万円）、（仮称）子ども家庭支援センター等整備工事費などの（仮称）子ども家庭支援センター整備費（1億6411万円）、（仮称）南成瀬小内学童保育クラブ新築工事費などの学童保育クラブ運営費（4億5824万円）、（仮称）鶴川子どもセンター基本設計委託料などの子どもセンター建設費（300万円）など

【衛生費】

金森峰山緑地購入費などの緑地保全費（1億8813万円）、天然ガス充填設備設置工事費及び塵芥収集車購入費などの塵芥収集費（2億3204万円）など

【農林費】

活力ある農業経営育成事業補助金などの都市農業対策費（2251万円）など

【商工費】

町田市元気を出せ商店街事業補助金及び商店街活性化推進事業補助金などの事業助成費（1億738万円）、中小企業融資利子補給金などの金融対策費（12億4162万円）、さくら祭り負担金などのさくら祭り費（1900万円）など

【土木費】

ペデストリアンデッキ補修及び改修工事費などの道路維持費（3億7094万円）、相原駅自由通路及び橋上駅舎化工事委託料などの道路新設改良費（12億15万円）、鶴川駅北土地区画整理事業会計繰出金（9億9621万円）、3・4・11号線（原町田）外4路線等道路築造工事費などの都市計画道路築造事業費（16億7312万円）、公園等用地購入費などの公園緑地整備費（6億5348万円）など

【消防費】

消防器具置場建設工事費などの消防施設整備費（1億180万円）など

【教育費】

（仮称）相原・小山地区小学校基本設計・実施設計委託などの学校施設整備費（11億7067万円）、適正配置校舎改造工事設計委託などの学校適正配置事業費（10億4164万円）、公民館保留床購入費及び内装工事費などの公民館移転事業費（32億6636万円）、知的障害者サッカー世界選手権大会支援事業委託料などのスポーツ事業費（5125万円）など

条例案

①地方自治法第14条第2項の改正に伴い、施設使用権の譲渡・転貸の禁止条項を規定する②各地域センターを使用する際、保育室として同時に使用する部屋は無料とする③三輪センターの開設に伴い、施設の名称を規定する「町田市地域センター条例の一部を改正する条例」、地域において子どもと家庭に関する支援ネットワークを構築し、子どもがいる家庭のあらゆる相談に対応するセンターを設立する「町田市子ども家庭支援センター条例」、町田市在宅介護支援センター条例に地域型在宅介護支援センターと基幹型在宅介護支援センターをそれぞれ1か所加えるために改正する「町田市在宅介護支援センター条例の一部を改正する条例」、現在建設中の原町田六丁目再開発ビル内に公民館が移転することに伴い、名称の改正や使用料等の改正を行う「町田市公民館条例の一部を改正する条例」などです。

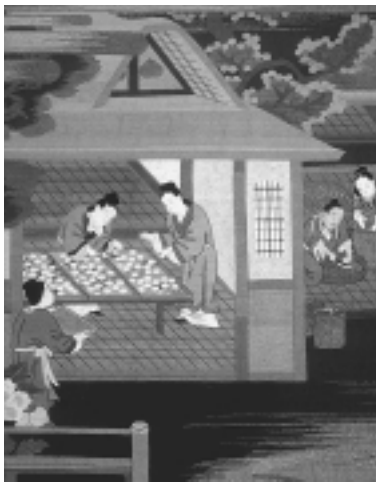
市立博物館

養蚕機織図展

～4月7日(日)

☎726・1531

開館時間　午前9時～午後4時30分
休館日　月曜日



養蚕機織図屏風　安永4年（1755）　滋賀県・大津祭旧神楽山堅田町自治会蔵

蚕を飼い、機（はた）を織ることは、『古事記』などの神話にも見られるように、我が国では古くから行われてきました。この町田市域においても、江戸時代末期から明治・大正時代にかけて盛んに行われています。この展示では、蚕を飼い（養蚕）機を織る（機織）様子を描いた絵画作品等69件、約100点を紹介します。

我が国の養蚕機織図（ようさんはたおりず）は、およそ室町時代ごろから描かれ始めます。最初は中国の養蚕機織図の模倣から始まり、やがて江戸時代になり日本独自のものが生まれます。当館蔵の「養蚕機織図屏風」は江戸時代初期ごろの作品とされ、中国の養蚕機織図を写したもので、登場人物も唐風に描かれています。同じく当館蔵の「たはらかさね耕作絵巻」も江戸時代初期ごろの作品ですが、こちらは和風に描かれています。この絵巻は、皇子や大名の子女に農業の辛苦を教えるために作られたもので、鑑戒（かがい）画といいます。

十八世紀後半になると浮世絵が盛んに作られ、喜多川歌麿などに養蚕機織図の美人画があります。養蚕機織図は絵画ばかりでなく、京都祇園祭の山鉾（やまぼこ）の水引に綴織（つづれおり）で織られたものや、滋賀大津祭の山車（だし）の水引に刺繍（ししゅう）で作られたものがあります。

明治になると皇室で皇后が養蚕をするようになり、この様子を描いた錦絵が発行されます。

ぜひ、ご来館下さい。

◇

○交通　町田バスセンター1番乗り場から「藤の台団地」行きバスで「市立博物館前」下車、徒歩5分

問市立博物館☎726・1531

たはらかさね耕作絵巻（部分）　江戸時代初期　町田市立博物館蔵

R100 本紙は古紙配合率100%・白色度70%再生紙を使用しています。ごみの減量と資源化にご協力を